



国立大学法人

長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

プレスリリース

平成22年10月18日

長崎大学熱帯医学研究所 市民公開特別講座 「『人獣共通感染症』ウイルスはどうやって生きのびているのか」

近年、新しい感染症が次々と世界中で発生している。そのほとんどが、人にも動物にも感染する微生物によっておこる「人獣共通感染症」である。その中から、インフルエンザウイルスとエボラ出血熱ウイルスについて、ウイルスの存続様式と進化について考えてみたい。

日時 平成22年10月29日（金）19:00～20:30
演題 「『人獣共通感染症』ウイルスはどうやって生きのびているのか」
講演者 北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター副センター長
同センター・国際疫学部門教授 ^{たかだ}高田 ^{あやと}礼人先生
場所 長崎市立図書館新興善メモリアルホール（1階）
受講料 無 料

〔問い合わせ先〕 長崎大学熱帯医学研究所

電話：095-819-7813

（受付時間 平日8:45～17:30）



長崎大学熱帯医学研究所市民公開特別講座



コウモリ



野ネズミから採血



高田礼人 (たかだ あやと)

北海道大学
人獣共通感染症リサーチセンター 副センター長
同センター・国際疫学部 教授
北海道大学獣医学部研究科博士課程終了
東大医科研を経て現職

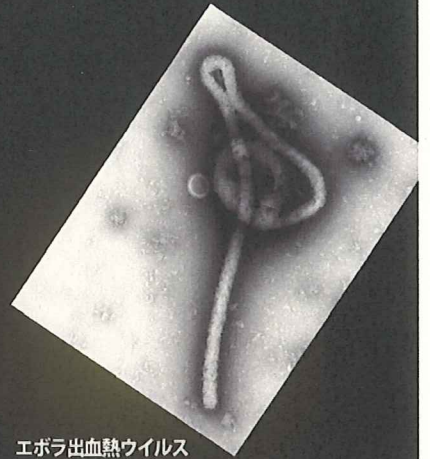
世界のウイルスの現場で研究を続ける注目の若手ウイルス学者。
日本人で唯一、エボラ出血熱ウイルスが潜む宿主となっている生物の
特定にアフリカ・ザンビアで挑んでいる。
情熱大陸(MBS)・爆笑問題のニッポンの教養(NHK)などに出演。

平成22年10月29日(金)
午後7時00分～午後8時30分
長崎市立図書館 新興善メモリアルホール
(〒850-0032 長崎市興善町1-1)

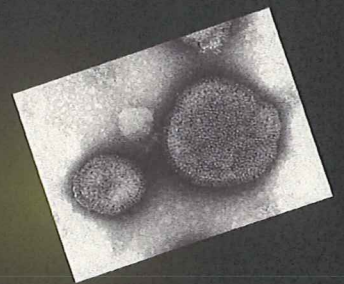
— 入場無料 —

「人獣共通感染症」 ウイルスはどうやって生きのびているのか

近年、新しい感染症が次々と世界中で発生している。そのほとんどが、人にも動物にも感染する微生物によっておこる。「人獣共通感染症」である。その中から、インフルエンザウイルスとエボラ出血熱ウイルスについて、ウイルスの存続様式と進化について考えてみたい。



エボラ出血熱ウイルス



インフルエンザウイルス

お問い合わせ：長崎大学熱帯医学研究所 TEL.095-819-7813